

研究実施のお知らせ

研究課題名：Adherence security と精神病増悪時の治療選択

研究期間：2019 年 12 月 31 日まで

研究責任者：田中 康平

山梨県立北病院では、上記課題名の研究を実施しています。

この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づき、山梨県立北病院臨床研究倫理審査委員会で審査を行い、実施が承認されています。

今回の研究では、匿名化された患者さんの情報を研究に利用させていただきます。

研究の目的と意義

前年度の精神神経薬理学会において、LAI（持効性注射剤）導入前後合計6年間におけるミラーイメージ調査を施行し、入院回数・入院期間ともに減少したことを報告しました。病状悪化時に検討する因子として、薬剤因子とストレス因子などがあり、前者には adherence（アドヒアランス）、efficacy（有効性）、drug to drug interaction（薬物相互作用）などが挙げられます。LAIによって adherence が保証されていれば（Adherence security）、精神病増悪原因を絞ることが可能となります。経口抗精神病薬（OAP）治療のため adherence が保証されていなければ、精神病増悪原因を特定することがより困難となり入院期間が長かったことが推測されました。本調査は Adherence security と精神病増悪時の治療選択を検討するために施行しました。

研究の方法

カルテ調査

利用する情報の項目

薬物治療や入院治療経過に関する記載

利用する者の範囲

2013年から2018年までに統合失調症圏にて当院へ精神病増悪により入院治療を行った症例

外部への試料・情報の提供

なし

個人情報の取り扱い

適切な手法に準じます

利益相反

大塚製薬、ヤンセンファーマ

ご自分の記録がこの研究に用いられることを希望されない方は、対象から除外いたしますので以下の連絡先まで、ご連絡ください。

研究への協力を希望しない場合でも、診療上支障はなく、何の不利益を受けることもありません。

連絡（問い合わせ）先

地方独立行政法人山梨県立病院機構 山梨県立北病院

（所属） （氏名）

〒407-0046

田中 育子

山梨県韮崎市旭町上條南割3314-13

電話：0551-22-1621（代）